



第18-98号

2018年12月19日

～みんなの思いが新しい鶴川駅を作ります～ 小田急電鉄 鶴川駅アイディアコンテスト 部門別 優秀賞を決定！

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）は、2018年12月19日（水）、
「小田急電鉄 鶴川駅アイディアコンテスト」優秀賞などを決定しました。

同コンテストは、駅と地域を繋いだ空間のあり方をテーマに、駅デザインに加えて将来の駅のあり方を見据えた駅機能・活用の提案をいただくことを目的に、今年6月から開催したものです。9月28日までの募集期間中に、一般の方々から200作品を超える応募がありました。

審査の結果、「駅舎デザイン部門」「駅周辺空間アイディア部門」「駅活用アイディア部門」の部門別の優秀作品を決定しましたので、下記のとおりお知らせします。

受賞作品は、「鶴川駅」の駅舎リニューアル時のアイディアとして採用し、2022年の工事着手を目指します。

記

1 部門別 最優秀賞 駅舎デザイン部門



「大きな屋根の下の小さなまち駅」

駅周辺空間アイディア部門



「鶴川シェアタウン」

駅活用アイディア部門



「駅がわたしの家になる」

2 部門別 優秀作品

(1) 駅舎デザイン部門



「交わりの丘」



「みんなで育てる実りの駅舎」

(2) 駅周辺空間アイデア部門



「駅から膨らむ人と街」



「鶴川荘を散策ろう」

(3) 駅活用アイデア部門



「鶴川まなびばフェスティバル」



「ちびっこプリマ」

※ 最優秀賞、優秀賞の他、各部門で佳作とゼルビア賞を選定しています

【参考1】小田急電鉄 鶴川駅アイデアコンテスト概要

1. 名 称 小田急電鉄 鶴川駅アイデアコンテスト～みんなの思いが新しい鶴川駅を作ります～
2. 募集期間 2018年6月1日（金）～ 2018年9月28日（金）
3. 募集内容
 - (1) 駅舎デザイン部門
 - 自由通路を含む、鶴川駅舎のリニューアルデザイン
 - ・ 駅舎（事務所、トイレ、改札口、券売機周辺及び通路部分を含む）
 - ・ 自由通路
 - ※ プラットホームは含まない
 - (2) 駅周辺空間アイデア部門
 - ・ 駅舎自由通路全体のデザインだけではなくあったらいいなと思う機能やアイデア
 - ・ 街から駅へ接続する駅前広場から自由通路をより多くの方に利用いただき、愛される駅にするためのアイデア
 - ※ ベンチ、照明、サイン計画、アート作品（待ち合わせスポット）等
 - (3) 駅活用アイデア部門
 - 鶴川駅及び、周辺地域（駅前公園、商業施設のオープンスペース）で実施したい、実施してほしいイベント、新しい鶴川駅がこうなったら嬉しいというアイデア
4. 結 果
 - 応募作品総数：204点
 - （駅舎デザイン部門：92点／駅周辺空間アイデア部門：72点／駅活用アイデア部門：40点）
 - 受賞作品数：25点
 - （駅舎デザイン部門：6点／駅周辺空間アイデア部門：6点／駅活用アイデア部門：13点）
 - ※結果発表の詳細は
URL：<https://compe.japandesign.ne.jp/tsurukawa/>でもご覧いただけます
5. 主催・協力 主催：小田急電鉄株式会社
協力：町田市／FC町田ゼルビア

【参考2】鶴川駅の概要

1. 開設年月日 1927年4月1日
2. 住 所 東京都町田市能ヶ谷1-6-3
3. 1日平均乗降人員 69,141人（2017年度・全線で16番目）
4. 駅の特徴
 - 鶴川駅周辺は、南に鶴見川、沢谷戸自然公園などの水とみどりに囲まれ、北には、「旧白洲邸武相荘」や「香山園 庭園・美術館」等文化施設や大小さまざまな公園があり、自然と文化、子育ての面でも魅力のある街です。2018年3月には、小田急小田原線代々木上原～登戸間、複々線化の完成により鶴川から新宿方面の速達性が格段に向上しました。

以 上